

オリーブ、柑橘類の加工・販売事業

株式会社アグリみらい21



6次産業化事業をはじめたきっかけ

新聞で事業が始まることを知って、矢も盾もたまず、自ら応募した。

山田茂さん

6次産業化認定事業者（平成24年2月29日認定）

農業生産法人

株式会社アグリみらい21

〒370-0402 群馬県太田市阿久津町791

TEL：0276-52-8833 FAX：0276-52-5637

代表者：山田 茂 主な事業：オリーブ生産等

メールアドレス：info@agurimirai21.jp

群馬県太田市で生まれた
エキストラバージンオリーブオイル
100g 3,000円アーモンドタフィ（オリーブ茶葉入り）
100g 850円オリーブパウダー茶
30g 1,200円塩漬けオリーブ果実
80g 700円オリーブパウダー茶入りアイス
価格未定

「二冬越して、寒さは大丈夫。台風風の風も、大雨の浸水も大雪でも、オリーブは元気でした。麥な自信がいついてしまった」と山田さ

15年ほど前、オリーブの栽培を始めたとき、山田茂さんは不安でいっぱいだった。はたして、この群馬で地中海沿岸に自生するオリーブがうまく育つものだろうか。あまり冒険はできないから最初に植えるのは36本にとどめることにした。だが、山田さんの不安は見事なまでに覆された。5年後には実がなり、利根川に近い砂地がちな広々とした畑でオリーブは健康やかに育っている。

群馬でオリーブ栽培を始めた先駆者の一人

んは笑う。

現在では太田地区だけでなく、伊勢崎・前橋地区の耕作放棄地を借り受け、14ヘクタール7000本まで圃場を拡大している。

イタリア製搾油機は2時間で80キロのオリーブを処理

これまでオイルを搾るには小豆島などの業者に頼ってきたが、平成26年、搾油工場を開設しイタリア製の搾油機を導入した。翌27年からは自らの手でオイルを搾り始めた。

「搾りはじめは搾油量が少なかつたのですが、だんだんコツが呑み込めてきました。搾油量は徐々に上がっています」。

現在オリーブの果実450キロを収穫し、自社オリーブ100%のオイルを150本売り出すことができています。このオイルはオリーブオイル品評会「オリーブジャパン」で高い評価を受けている。

新たな事業として、オリーブの葉を粉末にした「オリーブパウダー茶」の商品化を行った。さらに、「オリーブパウダー茶」を使ったキャンディを商品化し販売、好評を得ている。また、アイスやケーキなど、新たな商品も企画している。

「除草剤・農薬を使用せず、自然栽培で育てたオリーブ由来の体



にやさしい商品をいろいろ作って皆様に提供していきたい」。

現在は年数がたち大きく育ったオリーブの木を剪定した際の枝の葉を使用しているが、将来はお茶のためのオリーブの木の育成を考えている。

山田さんは、オリーブ栽培を行っている関東近県の方々とネットワークを作ったり、新たにオリーブ栽培を始めたい方の相談に乗るなど、国産オリーブオイルのすそ野を広げることにも力を注いでいる。

6次産業を活用しての山田さんのさらなる目標は、すでに明確な形を取り始めている。

取材後記

農地をもっている学校時代の友だちが、そろそろ定年を迎える頃で、何か新しいことをやりたがっている。そんな人にはオリーブ栽培を勧めるのだと、山田さんは言う。これまでに仲間が2人加わった。「太田をオリーブの一大産地にするのが夢」と、山田さんの構想はふくらむ。